上大渡野町自治会　防災マップ（１／２）

災害は自助・共助・公助
～この3つの行動が災害に対応する最も大切な基盤です～

令和６年３月作成

災害伝言ダイヤル

○大規模な災害が発生した場合にサービス開始！！

171

【171】をダイヤルし、音声に従って伝言の録音・再生を行います。
携帯電話からも利用できます。

災害時の連絡先

○災害が発生しそうなときや、発生したときは連絡を！！

- 諫早市役所（情報連絡室・警戒本部・対策本部）　TEL　２２－１５００
- 諫早消防署　TEL　２２－０１１９
- 諫早警察署　TEL　２２－０１１０

◎大雨時、河川や水路には近づかないようにしましょう！！

防災用品チェックリスト

災害時に必要な物を日頃から準備しておきましょう

- □飲料水：1人1日3ℓが目安。※赤ちゃんのいる家庭は、粉ミルク・ほ乳瓶なども。
- □食料品：乾パン・缶詰・ビスケット・チョコレートなど。
- □缶切り：多機能なものが便利。
- □医療品：消毒薬・胃腸薬・脱脂綿・バンソウコウ・包帯・持病の薬など
- □貴重品：現金(小銭も)・預金通帳・印鑑など。
- □マッチ・ライター：湿気やガス切れに注意。
- □ろうそく：ビニール袋に入れて、保管する。
- □懐中電灯：夜間、すぐに手の届く所に。ラジオと一体型のものも便利。
- □ラジオ：情報収集に欠かせない。
- □乾電池予備：ラジオや懐中電灯に使用するものを少し多めに。
- □ヘルメット・防災ずきん：飛来物や落下物から頭を保護するもの。
- □手袋(軍手)：ガレキの撤去や救助ができるように、厚手の物を用意。
- □衣類：雨具・下着・ジャンパー・タオルなど。
- □毛布：寝袋や体温を逃がさないサバイバルシートなど。
- □運動靴：避難する時ケガを防止するために。

◎避難情報など防災情報の入手先

- 防災行政無線（屋外スピーカー）
  →よく聞き取れないときは　０１２０－４１９－００９
- エフエム諫早（周波数　７７．１ＭＨｚ）
- 諫早ケーブルテレビ（３ｓｕｎテレビ）テロップ
- 防災メール、防災ＦＡＸ（事前に登録が必要です）
- 緊急速報メール（諫早市内の携帯電話メールに一斉配信）
- 市ホームページ　・その他テレビ・ラジオなどの放送媒体

上大渡野町自治会避難場所

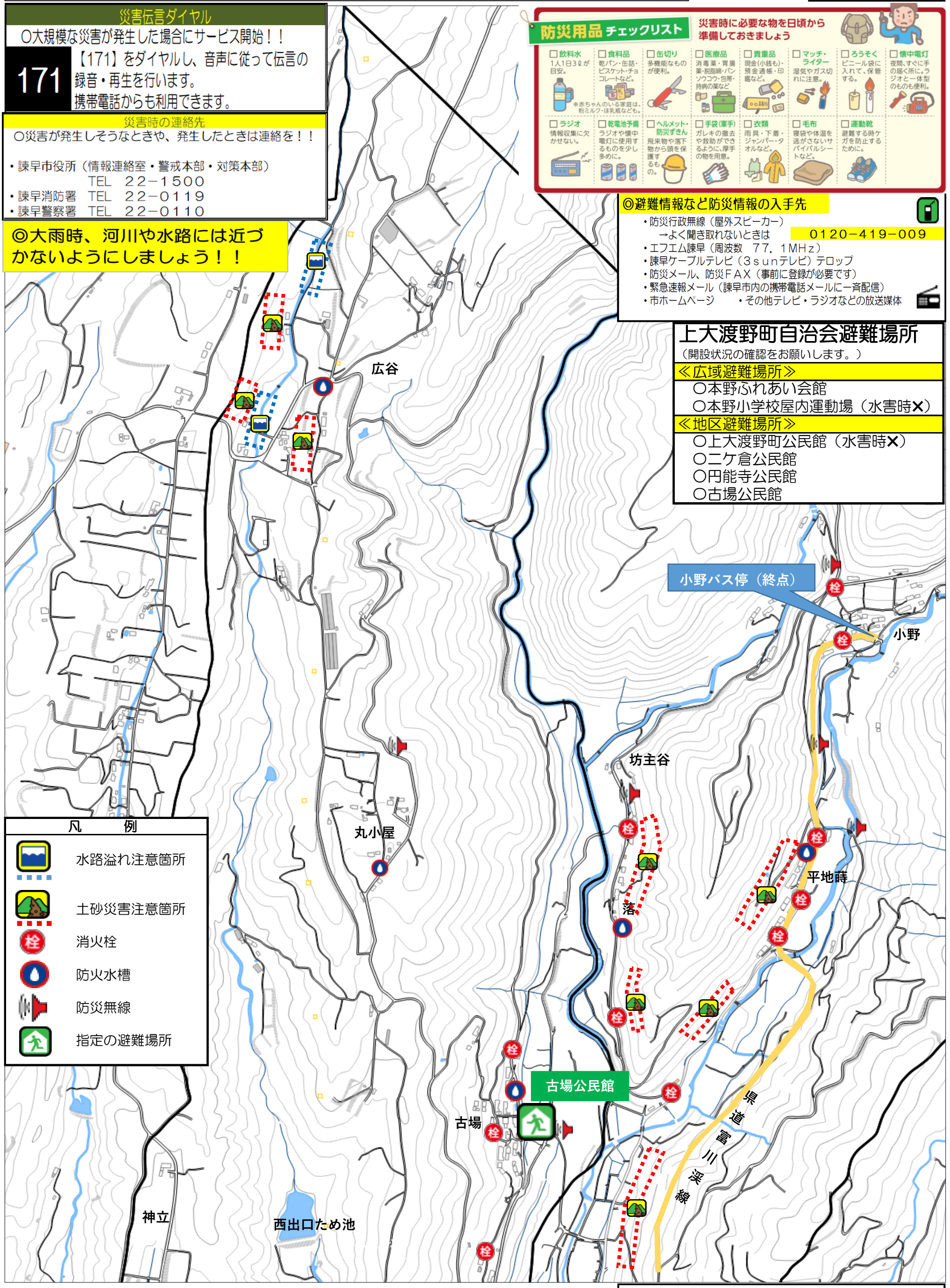
（開設状況の確認をお願いします。）

≪広域避難場所≫

- ○本野ふれあい会館
- ○本野小学校屋内運動場（水害時✕）

≪地区避難場所≫

- ○上大渡野町公民館（水害時✕）
- ○二ケ倉公民館
- ○円能寺公民館
- ○古場公民館



◎地域のことは地域で守ろう！

- 自主防災組織
  地域住民などで助け合う自主防災組織に参加し、地域とのコミュニケーションを深め、防災について意識を高めましょう。
- 防災訓練
  地域で行われる防災訓練には、積極的に参加しましょう。

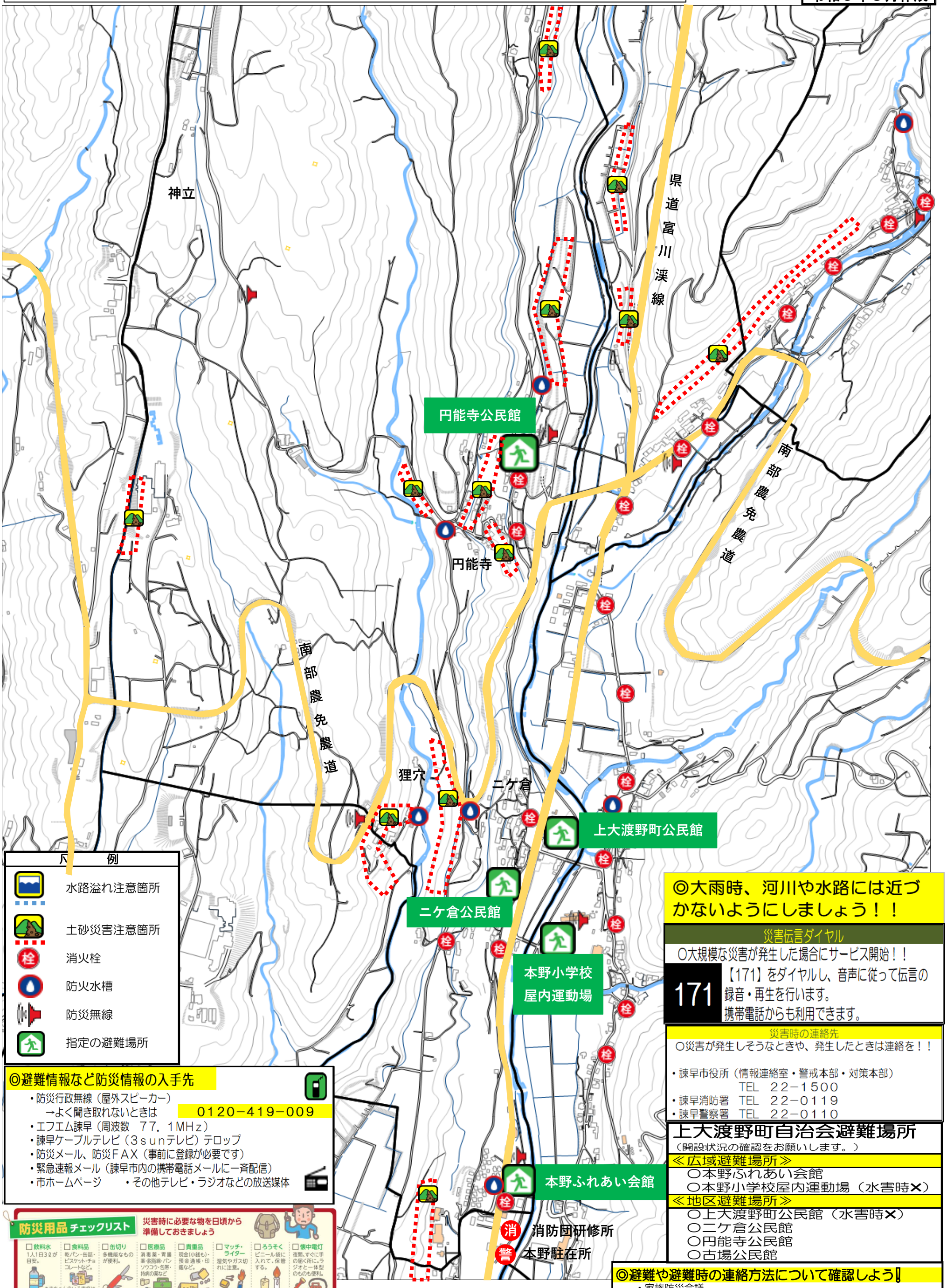
◎避難や避難時の連絡方法について確認しよう！

- 家族防災会議
  役割分担、避難場所、避難場所までの道順、家族との連絡方法などを家族全員で確認しましょう。
- 避難場所・道順の確認
  避難場所はどこか、道順はどうするかなどを確認しましょう。
  海辺などにいる時に地震が起きた場合には、すぐに高い所に避難しましょう。

上大渡野町自治会　防災マップ（２／２）

災害は自助・共助・公助
～この3つの行動が災害に対応する最も大切な基盤です～

令和６年３月作成



凡　例

- 水路溢れ注意箇所
- 土砂災害注意箇所
- 消火栓
- 防火水槽
- 防災無線
- 指定の避難場所

◎大雨時、河川や水路には近づかないようにしましょう！！

災害伝言ダイヤル

○大規模な災害が発生した場合にサービス開始！！

171　【171】をダイヤルし、音声に従って伝言の録音・再生を行います。
携帯電話からも利用できます。

災害時の連絡先

○災害が発生しそうなときや、発生したときは連絡を！！

- 諫早市役所（情報連絡室・警戒本部・対策本部）
  TEL　２２－１５００
- 諫早消防署　TEL　２２－０１１９
- 諫早警察署　TEL　２２－０１１０

◎避難情報など防災情報の入手先

- 防災行政無線（屋外スピーカー）
  →よく聞き取れないときは　０１２０－４１９－００９
- エフエム諫早（周波数　７７．１ＭＨｚ）
- 諫早ケーブルテレビ（３ｓｕｎテレビ）テロップ
- 防災メール、防災ＦＡＸ（事前に登録が必要です）
- 緊急速報メール（諫早市内の携帯電話メールに一斉配信）
- 市ホームページ　・その他テレビ・ラジオなどの放送媒体

上大渡野町自治会避難場所

（開設状況の確認をお願いします。）

≪広域避難場所≫
- ○本野ふれあい会館
- ○本野小学校屋内運動場（水害時✕）

≪地区避難場所≫
- ○上大渡野町公民館（水害時✕）
- ○二ケ倉公民館
- ○円能寺公民館
- ○古場公民館

防災用品チェックリスト

災害時に必要な物を日頃から準備しておきましょう

- 飲料水　1人1日3ℓが目安。
- 食料品　乾パン・缶詰・ビスケット・チョコレートなど。
- 缶切り　多機能なものが便利。
- 医療品　消毒薬・胃腸薬・脱脂綿・バンソウコウ・包帯・持病の薬など。
- 貴重品　現金（小銭も）・預金通帳・印鑑など。
- マッチ・ライター　湿気やガス切れに注意。
- ろうそく　ビニール袋に入れて、保管する。
- 懐中電灯　夜間、すぐに手の届く所に。ラジオと一体型のものも便利。
- ラジオ　情報収集に欠かせない。
- 乾電池予備　ラジオや懐中電灯に使用するものを少し多めに。
- ヘルメット・防災ずきん　飛来物や落下物から頭を保護するもの。
- 手袋（軍手）　ガレキの撤去や救助ができるように、厚手の物を用意。
- 衣類　雨具・下着・ジャンパー・タオルなど。
- 毛布　寝袋や体温を逃がさないサバイバルシートなど。
- 運動靴　避難する時ケガを防止するために。

※赤ちゃんのいる家庭は、粉ミルク・ほ乳瓶なども。

◎地域のことは地域で守ろう！

- 自主防災組織
  地域住民などで助け合う自主防災組織に参加し、地域とのコミュニケーションを深め、防災について意識を高めましょう。
- 防災訓練
  地域で行われる防災訓練には、積極的に参加しましょう。

◎避難や避難時の連絡方法について確認しよう！

- 家族防災会議
  役割分担、避難場所、避難場所までの道順、家族との連絡方法などを家族全員で確認しましょう。
- 避難場所・道順の確認
  避難場所はどこか、道順はどうするかなどを確認しましょう。
  海辺などにいる時に地震が起きた場合には、すぐに高い所に避難しましょう。